

ぎょうむそくほう 【ダイジェスト】

No.708

2026年5月19日
東海旅客鉄道労働組合
<https://www.jrtu.jp>



「ハートフルカンパニービジョン ⇒2027」の取り組み推進!



Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

業務委員会を開催

ユースディスカッションで寄せられた意見・要望等に基づき議論

Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION / Japan-Railway-Tokai-Workers-UNION

5月19日、申第14号「ユースディスカッションで寄せられた意見・要望等に関する申し入れ」に基づき業務委員会を開催し、会社と議論を展開した。

業務委員会では、分会・支部での「ユースディスカッション」、地本・総支部での「総括ディスカッション」で寄せられた2,300件に及ぶユース組合員の率直な意見・要望を基に、ユース組合員の想いを踏まえた議論を展開した。

具体的には、要員不足や育児休業取得時の職場課題、カスタマーハラスメント、熱中症対策、効率的な業務遂行体制の実現、人事考課制度における運用の改善、ICT環境や被服、一般住宅補給金、通勤に関する改善など、ユース組合員が安心して働き続けられる職場環境の実現に向け、ユースならではの柔軟な発想や現場感覚を踏まえた意見・要望等を会社に強く主張した。

特に、人事考課制度における課題に関しては、適切なフィードバックが行われることを求めるとともに、被服の改善について強く主張したところ、現時点で直ちに変更する考えはないものの、現場の実態や技術動向を踏まえ、更なる機能性向上の必要性について検討していくことが明らかになった。

JR東海ユニオンは、組合員から寄せられた意見・要望等を踏まえ、引き続き広範な議論を展開していく。

【主な議論内容】 (☑部分、現時点において前進を確認した事項)

- (1) 要員不足の改善と業務量に見合った要員配置
(要員不足の解消、看護師業務の負担軽減および要員不足解消)
- (2) 接客制帽着用条件の緩和 (3) キャッシュレス決済およびモバイル IC 対応機器の拡充
- (4) 社員が安心・安全に働ける環境の構築 (カスハラ防止、設備老朽化、熱中症対策)
- (5) 効率的な業務遂行体制の実現 (業務用端末の性能向上・配備数拡大、品川ビル・TW会議室予約)
- (6) 人事考課制度における運用の改善 (非現業における業務目標設定の負担軽減、フィードバック充実)
- (7) 被服の改善 (8) 一般住宅補給金の改善 (増額、一時金支給条件)
- (9) 野球部後援会費の支払い方法 (10) 通勤に関する改善について
- (11) 女性特有の健康課題に対する支援の充実について

・セントラルタワーズにおいて、共用設備の老朽取替工事にあわせ、会議室増設等の改良工事を実施することを確認！
・品川ビルにおいて、会議室不足解消のために、応接室1室を会議室へ変更したことを確認！

・目標設定や振り返りの上限文字数については、敢えて余裕をもった文字数を設定しているものであり、文字数を評価に反映するものではないことを確認！

※議論内容の詳細については、後日発行の「ぎょうむそくほう」をご確認ください。